

(3) 会派代表 日本共産党

質問者議員 丹 羽 実

件名 1 地方自治の本旨について。

- 要旨 1 市役所本来の仕事の第一は、営業ではなく福祉の増進ですが、市長の考えを聞く。
- 要旨 2 補正予算でのおでかけチケット事業、高齢者へのタクシー補助だけでなく、従来通り高齢者へバス券の補助を存続すべきではないか。
- 要旨 3 地域福祉センターの入浴施設は、費用対効果だけでなく福祉の視点から必要な人が利用できるようにするべきではないか。
- 要旨 4 上下水道料金の値上げは、基本料金などの低所得者への軽減対策と障がい児・者の減額制度復活などをセットで検討すべきでないか。
- 要旨 5 介護保険の要介護認定に、認定基準と介護サービス基準との乖離はないか。また適正化と称し必要なサービスを削ったり、過度のポイント付与政策になっていないか。
- 要旨 6 自治会の防犯灯（街路灯）電気代を 1 / 2 補助しているが、全額市負担にしてはどうか。近年、市街地や旧村地域では新規自治会加入者が見込めず反対に退会者が増加し、ますます防犯灯の電気代負担が重くなっています。これを放置すれば、電気代負担が自治会加入減少の理由となってしまいます。
- 要旨 7 物価高騰対応重点支援助地方創生臨時交付金の非課税世帯への給付について、物価高に困っているのは、本当に非課税世帯だけと考えるのか。市民感情的には、自営業者を中心に頑張っって少しでも税金を払う努力をしているのに、その方たちには「非課税世帯でない」を理由に国からの給付金対象から外されている。
- (1) 課税世帯と非課税世帯の数は。
- (2) この市民感情を是正する施策はないのか。
- 要旨 8 国民健康保険が府内統一料金になり 1 年が過ぎる。被保険者の健康の保持増進のためなど「予防」の観点から所得に対して保険料が明らか

に高額な世帯に支援金などを給付し、高すぎる保険料の低減を図るべきではないか。

要旨 9 子ども医療費助成制度の自己負担分 500 円を無料にすべきでは。高槻市が令和 7 年度から 500 円の自己負担なしで 18 歳まで完全無料化しようとしています。

件名 2 住みよいまちづくりについて。

要旨 1 埼玉県八潮市の幹線下水道の陥没事故に関連して、下水道管の事故は、敷設から 40 年を超えるころから急増する傾向があり、2015 年改正の下水道法で創設された維持修繕基準では、5 年に 1 回以上の頻度で「腐食のおそれ大きい下水道管路」の点検を義務づけています。

- (1) 国の緊急点検対象の下水管の直径は何ミリ以上で流量は何トンか。
当市にはあるのか。
- (2) 当市の天野川幹線下水道と河内長野幹線下水道は大丈夫なのか。
- (3) 下水道管の耐用年数は 50 年と言われるが、当市の 2 幹線の交換時期はいつ頃か。

要旨 2 現在進行している高向・上原地区土地区画整理事業は、市民から注目されています。現時点で発表できる図面などの概要を広報に掲載すべきではないか。

要旨 3 空き家対策事業について。

- (1) 今年度の実績は。全域の把握数・特定空き家数・管理不全空き家数・管理空き家数は。
- (2) 当市は、「住宅・空き家対策係」があり日々努力していると思うが、今後の方針は。

要旨 4 令和 7 年度の地球温暖化対策事業について。

- (1) 施策の方針にある電気をお得に「つくる・ためる・つかう」を応援する補助制度の創設の内容は。
- (2) 令和 6 年度と令和 7 年度の再生可能エネルギー導入促進補助金制度の違いは。

(3) 太陽光発電設備の個人向け補助の充実は。また企業の申請を促す変更点は何か。

要旨 5 近畿大学病院移転問題は、現在どのように推移していますか。また跡地に入る病院のベッド数・診療科目・移転時期は。

要旨 6 市道三日市高向線（通称よしや峠）の拡幅事業は、いつ頃着手するつもりか。

要旨 7 消防団屯所に、他市でもある出動中を知らせるパトライトを取り付けてはどうか。

件名 3 教育環境改善の取り組みについて。

要旨 1 小中学校の体育館へのエアコン設置を令和 7 年度中に完了させる計画は。またその財政計画は。

要旨 2 小中学校の特別教室へのエアコン設置は 100%完了しているのか。その完了計画は。